雲ひとつない晴天の中

耳原鳳健康まつり開催

41店もの模擬店が参加

5月10日（日）第24回耳原鳳健康まつりが開催されました。例年雨に悩まされていた健康まつりですが、今年は初夏を思わせる雲ひとつない晴天の中、事故もなく2千人を超える来場者の方を迎えることが出来ました。

中央ステージは、バックウッズマウンテニアーズさんの陽気なブルーグラス音楽やナーシングホームクラウン石崎先生の素敵な尺八演奏、友の会健康体操、中学生の吹奏楽、和太鼓、保育園児の合唱などで盛り上がり、終始楽しんでいただけました。大人気の健康チェックや無料歯科検診、41店舗の模擬店もたくさんの地域の方に利用していただくことが出来ました。

小さなお子さんからお年寄りの方まで、みんなが楽しめる笑顔と活気溢れるおまつりとなりました。ご協力いただいた参加者や友の会、実行委員の皆様本当にありがとうございました。

（鳳クリニック　角野）

大人気の健康チェック

NPT代表団

2015年NPT再検討会議 同仁会代表団

壮行会に29人が参加

ニューヨークへ出発する同仁会代表団の壮行会が4月20日に、本部会議室で行なわれました。

2010年に続き、今回も参加する鳳クリニック池田所長のミニ学習会がありました。ニューヨークで何をするのか、NPT（核不拡散条約）再検討会議の意義、5年間の前進、日本人の役割など、NPT再検討会議に向けていい事前学習になりました。

参加者からたくさんの激励の言葉をいただき、代表団6人がNPT再検討会議への思いを力強く語りました。

（事務局　亀井）

介護の現場から ⑤

訪問看護ステーション みなと
宮川　光代

身寄りがなくても在宅で最期を

Aさん（70歳）。検査をしたところ内臓のがんが見つかりました。見つかった時には、もう手術ができない状態でした。

Aさんの思いを受け止め、自宅で最期を看取れる体制を取りました。大好きなAさんの死期が近づくのが悲しくて、訪問看護に連絡、立ち去りがたい思いで部屋を後にし、それでも心配でもう一度部屋に入ると「もういいよ、行きなさい」。訪問看護師が訪問したときには安らかな顔で息を引き取られていました。医師が死亡確認をされた後、ヘルパーと看護師でエンゼルケアを行いました。Aさんが好きだった「氷川きよし」のCDとぬいぐるみを棺にいれました。Aさんは苦しく辛かったと思いますが、「大丈夫だよ」といつも穏やかでした。

身寄りがなくても在宅で最期を迎えることができる、Aさんの生き様からたくさんのことを学びました。

病状が悪くなりましたが「何があっても病院には行きたくない。身体がしんどくなっても行きたくない。ずっとここにいさせてください」と主治医に訴えられました。

が辛くなりましたが、訪問看護師が起こりうる状況を細かく伝え協力しあいました。

ある日の朝、ヘルパーさんが訪問するとAさんは呼吸が辛そうでした。

お便り

Letter

会員さんから「とも」に届いたお便りを紹介します。

感無量です

富田林市久野喜台　佐々木有馬（70歳）

新病院の完成おめでとうございます。感無量です。地域の医療機関としてますますのご発展を祈念いたします。

これからも安心して

南区庭代台　大藤利子（70歳）

新病院完成おめでとうございます。見学会に参加させて頂きまして、新しい医療機器もたくさんあって、お医者さん看護師さん事務局の方々皆さん親切でこれからも安心して病院にいけます。いつも「友の会」の新聞ありがとうございます。

助かりました

堺区霞ヶ丘町　和田幸子（65歳）

新病院に思いがけず早々にお世話になりました。友の会の皆さまがいろんな所で案内してくださりとても助かりました。

平石　米子

わくわく気分です

西区堀上緑町　津田絹江（84歳）

新病院のオープンおめでとうございます。今度お世話になるのは、あの病院なのだとバスの窓から眺めてわくわく気分です。スタッフ一同様の写真を拝見してとても心強く思いました。

寺坂　加容子

ためになっています

西区草部　前田ひろ子（54歳）

新病院オープンおめでとうございます。介護保険料の引き上げから各支部のサークルなど、いろいろな情報を知ることができとてもためになっています。私も余裕ができればサークルなどに参加したいと思っています。

通院はこれからも

堺区東上野芝町　林　幸男（86歳）

移転早々、救急でかかってしまいました。今回は運よく入院しないで良かったのですが。やはり近くにあるので本当に助かりました。通院はこれからも続きます。